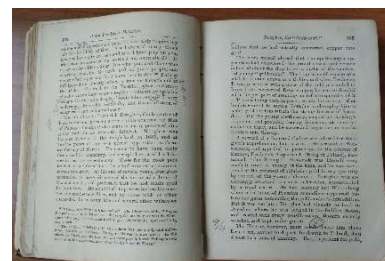
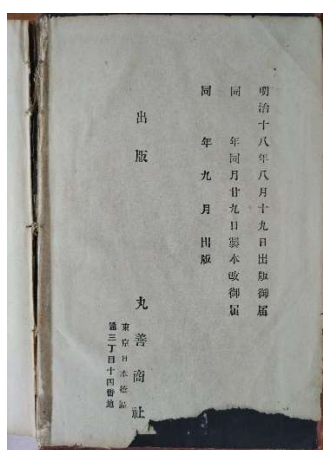
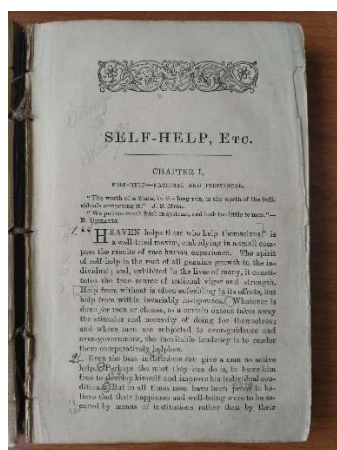


# Y校アーカイブ vol. 15 「美澤先生の『SELF-HELP』」

古い学校誌などを見ていると、「美澤先生は『セルフ・ヘルプ』を原書で講和されていた」といった記述が何度も出てきます。その、Y校初代校長の美澤進先生が実際に使用していた『SELF-HELP』という本が図書館に残されています。どなたかが後にテープなどで補修した跡がありますが、美澤先生が書かれたのではと思われる書き込みがところどころにあり、書体や紙の手触りなどに歴史の息吹を感じます。奥付には明治十八年八月十九日出版御届、同年同月廿九日(29日)製本改御届、同年九月出版 丸善商社 東京日本橋区(区)通三丁目十四番地 とあります。

こちらをそのまま貸し出すことはできませんが、洋書コーナーに Samuel Smiles『SELF-HELP』(159 S 洋書)がありますのでご活用ください。翻訳版は、1871年出版の中村正直訳が金谷俊一郎によって現代語訳版となった『西国立志編』(159 ス新書)と、2016年出版の久保美代子訳『新・完訳 自助論』(159 ス)があります。

『西国立志編』は、美澤先生が講義されていた頃には福澤諭吉の『学問のすゝめ』と並んで「二大啓蒙書」と言われ、当時のベストセラーとなっていたようです。「天は自ら助くるものを助く」という言葉から始まり、歴史上の人物の成功談をもとに、自立して生きていくことについて説いている本です。商いについて、金銭について、仕事について、家庭について、誠実であることについて、など、いまのY校生の心にもそのまま響くような言葉がちりばめられています。



『SELF-HELP』と一緒に商業関係の本が3冊保管されています。右の2冊は『THE BRYANT AND STRATTON BUSINESS ARITHMETIC(1877,1889)』、左は『THE CRITTENDEN COMMERCIAL ARITHMETIC(1883)』、商業算術や統計学に関する本で、中を開いてみると、実践的な問題や参照表、小切手の見本などがありました。1854年にニューヨークで商業大学を設立したブライアント&ストラットンの著書である一番右の大きな本の最初のページには「三菱商業学校蔵書」と「拂下證(払い下げの証し)」という印が捺されています。その次のページには、「横濱商法学校蔵書印」が捺されています。Y校に校長として呼ばれるまで三菱商業学校にいた美澤先生が、前任校で除籍となった本を携え、新たな蔵書印を捺されている姿が浮かんできます。

